

事業事前評価表

国際協力機構東南アジア・大洋州部東南アジア第六・大洋州課

1. 基本情報

- (1) 国名：サモア独立国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：アピア（人口約 3.7 万人）
- (3) 案件名：サモア国立大学保健科学学部施設整備計画（The Project for the Improvement of Facilities at the Faculty of Health Science, National University of Samoa）

G/A 締結日：2024 年 2 月 12 日

2. 事業の背景と必要性

- (1) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け
サモア独立国は、大洋州に属するウポル島とサバイイ島の主要 2 島及びその他 7 つの小島からなる島嶼国であり、面積は 2,840km²、人口は約 19.8 万人（2020 年、世銀）、一人当たり国民総所得（GNI）は 4,070 米ドル（2020 年、世銀）である。保健セクターは、医療従事者不足、施設の老朽化、予算不足等の問題を常に抱えており、特に保健医療人材の育成に対するニーズが大きいとされている。世界保健機関（WHO）によると SDGs 達成のために必要な保健人材（医師、看護師、助産師）は人口千人当たり 4.45 人と推計しているが、当国は、2.83 人（2016 年）と著しく低いことが確認されている（2019 年、WHO）。また、2019 年 11 月には当国内で麻疹が大流行し、83 人が死亡、5,700 人以上の感染が確認された。予防接種に係る資機材はドナー支援等により整備されていたものの、専門知識を十分に有している医療従事者の不足により、十分な予防接種率を維持できていなかったことが背景にある。加えて、2020 年 11 月 17 日、当国内で初となる新型コロナウイルスの感染例が確認された。2022 年 3 月には初の市中感染が確認され、サモア政府は警戒態勢を上げ、ロックダウンの実施、勤務時間短縮・外出制限、検査体制の拡大、ワクチン接種の更なる推奨等、感染拡大防止に努めている。保健セクターには、新型コロナウイルス感染症にかかる対策のために約 7.3 百万米ドルが 2020/2021 年度の国家予算において配分されており、当国保健省は、治療体制の構築等の対策を行っている。同体制の確立を持続的なものとするため、質を保った医師、看護師などの保健医療人材の輩出に貢献する教育の充実の必要性が指摘されている。

サモア国立大学では、看護科及び医学科から構成される保健科学学部において看護師、医師等の養成プログラムが提供されており、約 380 人の学生が在籍している。当国内の保健人材の 9 割が当大学で資格を取得

しており、当学部学生は、国立病院に隣接するキャンパス及び一般講義棟を含めたキャンパスにて、それぞれ臨床及び前臨床分野を学習する。しかし、既存施設は、学生数に対する講義室等の設備不足により、大教室の他学部との共用、一般教室を間借りして通常授業時間外で実習をするなどの問題が生じており、シミュレーター等の実習・実験機材についても不足又は老朽化により十分な内容の実習が行えていない状況にあり、当学部教育実習棟を整備することが喫緊の課題となっている。

こうした状況下、当国保健省は、「サモア保健セクター計画 2020-2030 (Health Sector Plan)」において、保健医療人材の育成強化を重点課題として掲げており、保健医療人材育成のための教育を管轄する当国教育省の「サモア教育セクター計画 2019-2023 (Education Sector Plan)」を受けた当大学の中期計画においても同キャンパスの整備を掲げている。「サモア国立大学保健科学学部施設整備計画」(以下、「本事業」という。)は、首都アピアのサモア国立大学において保健科学学部教育実習棟を新設及び関連機材を整備することで、これら医療人材育成に係る課題解決を図るものであり、保健省、教育省及び当大学の上記計画において、保健医療人材育成強化に寄与する不可欠な優先度の高い事業として位置付けられている。

(2) 保健セクターに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置付け

我が国は、2021年7月に開催された第9回太平洋・島サミット(PALM9)の首脳宣言において、「新型コロナウイルスへの対応と回復」を重点分野の1つとして掲げており、新型コロナウイルスの影響を踏まえた保健医療体制強化に資する支援を行う旨表明している。また、対サモア独立国別開発協力方針(2019年4月)では、重点分野「脆弱性の克服」において、保健医療水準の向上のため保健分野の人材育成を含む保健医療サービスへの支援に重点を置くとしている。さらに、JICAはグローバルアジェンダ「保健医療」において、新型コロナウイルス感染症等への対応を強靱化し、人々の生活の基盤となる健康を守る体制作りを推進すべく、「JICA世界保健医療イニシアティブ」に重点的に取り組んでいる。同イニシアティブでは、感染症診断・治療体制の強化を柱の一つとして掲げ、医療人材の育成を通じた医療提供システムの強化を進めており、本事業はこれら方針に合致する。なお、同国立大学に対する我が国の支援として、「サモア国立大学拡充計画」(1995年E/N、講義室棟整備等)、「職業訓練学校拡充計画」(2004年及び2005年E/N、教養学部棟整備等)を実施している。

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国の協力方針に合致し、保健科学学部教育実習棟の整備を通じて保健医療人材の育成強化に資するものであり、SDGs ゴール 3「健康的な生活の確保、福祉の促進」及び 4「質の高い教育の提供、生涯学習の機会の促進」に貢献することから、事業の実施を支援する必要性は高い。

- (3) 他の援助機関の対応
特になし。

3. 事業概要

(1) 事業概要

① 事業の目的：本事業は、首都アピアに位置するサモア国立大学保健科学学部において、医師及び看護師養成のプログラムを実施する保健科学学部教育実習棟の建設及び関連機材の整備を行うことにより、保健医療分野における教育の質の向上を図り、もって保健医療人材の育成強化に寄与するもの。

② 事業内容

1) 施設、機材等の内容：

【施設】保健科学学部教育実習棟（総延床面積約 3,550 m² ※発電機棟 35 m²を含む）（教員事務室、司書事務室、講義室、シミュレーション室、図書館、セミナー室、医学実験室、講堂等）

【機材】実験・実習用機材（出産シミュレーター4点、フィジカルアセスメントモデル、患者モニター、超音波診断装置（出産）等）、教育用機材（AVシステム（固定カメラ、プロジェクター、スクリーン含む）等）

2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理、機材及び施設維持管理等にかかる技術指導

③ 本事業の受益者（ターゲットグループ）：サモア国立大学保健科学学部の教職員及び学生約 400 人。

(2) 総事業費：2,851 百万円（概算協力額（日本側）：2,401 百万円、サモア独立国側：450 百万円）

(3) 事業実施スケジュール（協力期間）：2024 年 2 月～2027 年 10 月を予定（計 45 か月）。施設供用開始時（2026 年 11 月）をもって事業完成とする。

(4) 事業実施体制

1) 事業実施機関：サモア国立大学（National University of Samoa; NUS）

2) 運営・維持管理機関：サモア国立大学（National University of Samoa; NUS）

(5) 他事業、他援助機関等との連携・役割分担

1) 我が国の援助活動：特になし。

2) 他援助機関等の援助活動：特になし

(6) 環境社会配慮

① カテゴリ分類：C

② カテゴリ分類の根拠：本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」(2010年4月公布)上、環境への望ましくない影響は最小限であると判断されるため。

(7) 横断的事項：特になし。

(8) ジェンダー分類：【ジェンダー案件】■GI(S)(ジェンダー活動統合案件)
＜分類理由＞本事業は、大学の教員及び学生の女性比率が高いことから、男女想定人数に応じた個数のトイレ、日没後の移動等に不安がないよう建物外構への外灯設置等を設計に盛り込むなどのジェンダー視点に立った設計を行っているため。

(9) その他特記事項：特になし。

4. 事業効果

(1) 定量的効果(アウトカム(運用・効果指標))

指標名 ¹	基準値 (2021年実績値)	目標値(2029年) 事業完成3年後
保健科学学部 学生一人当たりの実験室・実習室の面積(m ² /人)	1.00	1.64
保健科学学部が実施する実験・模擬実習のうち、通常運営時間(8時-17時)内に実施された年間時間数(時間)	医学科：462 カリキュラム上の必要時間の73%	医学科：630 カリキュラム上の必要時間の100%
	看護学科：448 カリキュラム上の必要時間の76%	看護学科：588 カリキュラム上の必要時間の100%
看護学科の看護師・准看護師コースの合同講座(100人規模)のうち、大教室で実施された年間時間数(時間)	126 カリキュラム上の必要時間の33%	378 カリキュラム上の必要時間の100%

(2) 定性的効果：

- ・カリキュラム実施に必要な医療シミュレーター、検査機器等の機材が整備されることにより、保健科学学部の教育の質が向上する。
- ・図書館を整備することにより、保健科学学部学生の最新の学術文献へのアクセスが容易となるなど学習環境が改善する。
- ・実習を含めた教育の質の向上により、保健科学学部の保健医療人材の育成が強化される。

5. 前提条件・外部条件

(1) 前提条件：整備機材を適切に活用・維持管理できる人員及び予算の確保が行われること。

(2) 外部条件：世界的な新型コロナウイルス感染症の流行が工事・物資調

達・輸送等の進捗および物価上昇に甚大な影響を与えない。サイクロン等の気象災害が同進捗に大幅な遅延をもたらさない。

6. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

当国向け無償資金協力「職業訓練学校拡充計画」（評価年度 2010 年）の事後評価では、定期的な機材更新等も視野に入れた十分な予算を確保し、予防的な維持管理の視点を持って維持管理計画通りに進めていくことの重要性が指摘されている。

本事業ではこの教訓を生かし、実施機関によって本事業で整備する施設及び機材の維持管理および更新計画の策定、確実な運用のための予算確保について合意、あわせてソフトコンポーネントとして維持管理にかかる技術指導を計画している。

7. 評価結果

本事業は、当国の開発課題・開発政策並びに我が国の協力量針に合致し、保健科学学部教育実習棟の整備を通じて保健医療人材の育成強化に資するものであり、SDGs ゴール 3「健康的な生活の確保、福祉の促進」及び 4「質の高い教育の提供、生涯学習の機会の促進」に貢献することから、事業の実施を支援する必要性は高い。

8. 今後の評価計画

- (1) 今後の評価に用いる指標
4. のとおり。
- (2) 今後の評価スケジュール
事業完成 3 年後 事後評価

以 上

別添

サモア国立大学保健科学学部施設整備計画 地図

<サモア独立国全体地図>



<首都アピア地図>



<サモア国立大学 地図（本事業予定地含む）>

レ・パパイガラガラキャンパス地図



保健科学学部教育実習棟予定地